

九州大学経営協議会議事録

日時：平成24年1月19日（木）13：00～15：15

場所：九州大学本部第一会議室

出席者：（略）

【審議事項等】

1 中期計画の変更について

生物資源環境科学府附属水産実験所の土地の一部及び農学部附属福岡演習林久原総合研修所の土地及び建物の全部の譲渡計画決定に伴う中期計画の変更並びに薬学府の入学定員の変更に伴う中期計画の変更について説明があり、審議の結果、これを議決した。

2 平成24年度予算の内示について

平成24年度の政府予算案の概要及び九州大学関係の予算内示について、資料に基づき報告があった。

その際、以下のような意見等があった。

- ・ 産業界との連携推進を大学側から行っていくという点は大変意義があると考えているが、現時点で九州大学において何か行っている取組みがあるか。
 - 自治体も含め企業各社との間で組織対応型連携協定を締結している。また、本学は九州経済連合会の会員であることを踏まえ、今後はそのような中での活動についても積極的に行っていく必要があると考えている。
 - ビジネススクール、政策のための科学採択事業、ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター、ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター等も活用していくことができるのではないかと考えている。
- ・ 概算要求事項について、継続分は額がかなりカットされている。新規事項についても数件しか認められておらず、ほとんどが文部科学省の段階においてゼロとされている。大変厳しいという印象を持った。
 - 今後も社会のニーズをしっかりと捉えた新しい提案を行っていく必要がある。新たな発想を持って様々なプロジェクトに取り組んでいきたい。
- ・ 寄附講座、共同研究等、民間企業による資金の状況はどのようになっているのか。
 - 民間企業からの資金については共同研究によるものが多いが、寄附金として提供される場合もある。なお、今年度から新たに共同研究部門を開設しており、現在3部門を設置している。平成24年4月1日にはさらに3部門を新たに設置し、全部で6部門となるが、これに伴い民間からの共同研究による資金が上昇する見込みである。
- ・ 学生の双方向交流の推進に係る予算については前年度も同じような内容であったのか。また、九州大学がこの予算を獲得する仕組みはどのようになっているのか。
 - 従来は留学生の受入れが中心であったが、最近では日本人学生の海外派遣に関する予算が増加している。この予算については、各大学がプログラムを策定して応募するという競争的仕組みになっている。
- ・ 最近では日本人学生が経済的理由により海外に出ていかないという話を聞くことが多い。もっと海外に派遣してあげる必要があるのではないかと。

→ 本学では百周年記念事業等への寄附に基づく基金を活用し、当該基金による支援助成事業の一つとして、学生及び若手教職員の海外派遣支援についても行っている。

- ・ 3ヶ月や1年の海外派遣は、学生が次回海外に出るという点において大きな刺激・動機づけになる。留学生の受入れよりも日本人学生を海外に派遣する方が大事であると思う。

3 公務員の給与改定に関する取扱いについて

人事院勧告の概要及び平成23年10月28日に閣議決定された公務員の給与改定に関する取扱いについて報告があった。

なお、今後、国会における関係法律案の審議状況や他大学の検討状況等に留意しつつ、本学としての対応を検討していくこと及び本学に関する対応案を策定した際には本会議において審議いただくことになるが、審議日程の都合上、書面により開催する場合もあり得ることについて説明があった。

4 主幹教授の選定について

新たに3名を主幹教授に選定したことについて報告があった。

なお、主幹教授は当該研究プロジェクト名を冠した先導的学術研究拠点を設置することができ、これまでに設置された16の先導的学術研究拠点において積極的に研究活動が展開されていることについて説明があった。

5 大学改革活性化制度による教育研究組織の見直しについて

組織の活性化を目的として教員ポストの1%を再配分する大学改革活性化制度を活用した平成24年度における教育研究組織の改編案について報告があった。

6 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業の採択について

文部科学省が平成23年度より開始した科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業に、本学から応募していたプログラムが採択されたことについて報告があった。

【その他】

1 平成24年度経営協議会開催日程について

平成24年度の本会議の開催日程（予定）について案内があった。

2 次回の開催について

次回は平成24年3月15日（木）に開催予定である旨の案内があった。

【懇談】

会議後、九州大学の人文系における新たな取り組みについて説明があった後、当該説明内容及び資料等に基づいて懇談を行った。

（ 以 上 ）